ところざわ倶楽部　　活動報告　　野老澤の歴史をたのしむ会

最盛期の所沢飛行場外周を歩く

２０１９-3-9　記　三島昭雄

実 施 日　　２０１９年3月7日（木）　　１０：００～１４：００
参 加 者　　１９名
集合場所　　航空公園駅

明治４４年（１９１１年）日本初の飛行場が所沢に開設されました。当初は幅５０メートル、長さ４００メートルの滑走路でしたが、その後随時拡張され最盛期は３６５．３ヘクタールになりました。

終戦後は米軍基地となりましたが、一部を残し、返還後は航空公園等となり、「所沢航空発祥記念館」が設立されています。

今回、最盛期の飛行場の外周を歩きます。

１０時　航空公園駅出発

天気予報では午前１０時頃まで雨とのことで、参加者は何人になるだろうと心配しておりましたが、１９名と予想以上の参加者がありました。

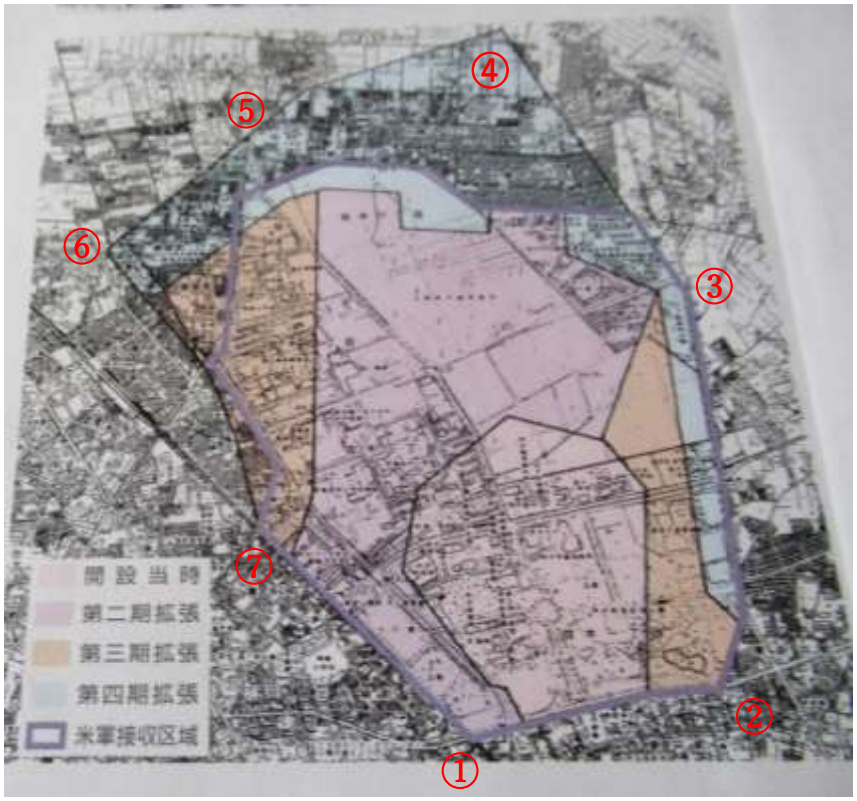
航空公園駅から所沢方面に線路際を歩く。左側はグランド、テニスコートになっていて１０分位歩いたところで、国道４６３号線に突き当たる。この街道は日本一長いケヤキ並木道路で有名である。①

そこを左に折れて航空公園沿いに進み、熊野神社前を送り通り過ぎ、１５分位歩いたところで、左にカーブした道を行く。②

途中、こぶし団地入口、東京空交通管制部を見て、生涯学習センターに到着して、ここでしばらく休憩をとる。

午前１１時　生涯学習センターを出発。右手にヤオコー、左手に並木団地が見えてくる。
並木通り団地前の交差点をやや左折して進む。③
左手にある並木団地を通り過ぎと瀟洒な住宅が立ち並んでいる。やがて、ニュウタウン（中新井）に着き、道なりにカーブした道を進む。
１１時３０分　飛行場の最北端と思われる場所に着く。④

そして、フエンス沿いに左に進む。道路の左右は住宅はまばらで、殆どが畑になっている。どんどん進むと川越・所沢街道に突き当たる。
そこを左折して、楽しみな昼食場所「たつみそば」に着く。⑤　この店には以前から席を予約してあり、各自、好きな食事を注文して一時を過ごす。
１３時　昼食後、川越・所沢街道を新所沢駅方面に向かって歩く。やがて、所沢美原郵便局が見えてきて、少し先の道を左折する。⑥
途中、かって引き込み線があった場所を確認。⑦　ゴールの航空公園駅へひたすら歩き、１４時到着。道中、時折小雨がぱらつきましたが、そこで、解散。皆さん、お疲れさまでした。



飛行場拡張区域図